

全国貨物純流動調査（物流センサス）の概要

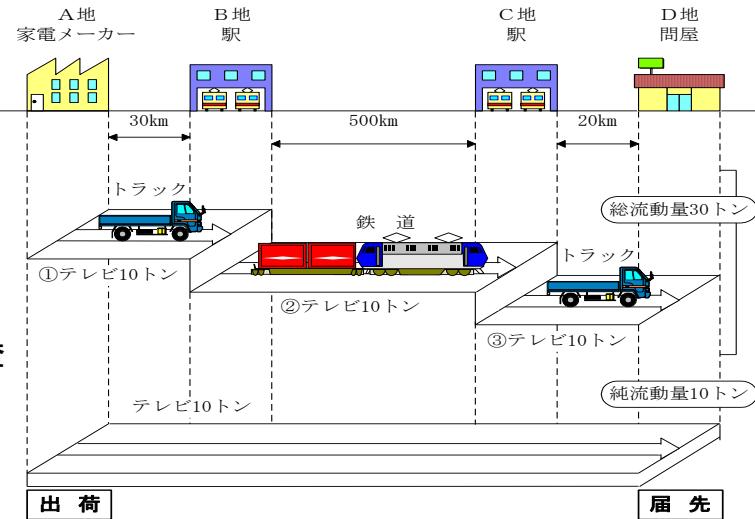
調査目的

- 全国貨物純流動調査（物流センサス）は、全国の事業所において発生する**貨物の流動実態を調査するもの**。（昭和45年以降5年毎に実施。）
- 貨物の品目別流動量、利用運送機関、輸送経路等を把握し、代表輸送機関別シェア、輸送構造の経年変化等を分析して、**物流関係施策の検討に資する基礎資料とすることを目的とするもの**。

調査概要

- **年間輸送傾向調査**（略称「年間調査」）
「年間調査」は、年間の出入荷量及び輸送傾向を把握するため、品類別出入荷重量、輸送機関利用割合等を調査。
- **3日間流動調査**（略称「3日間調査」）
「3日間調査」は、貨物の流動を詳細に把握するため、出荷1件ごとに品目、荷受人業種、届先地、出荷重量、輸送経路（利用輸送機関、利用輸送施設）、品目等を調査。

- 自動車、鉄道、航空輸送統計等
・輸送機関に着目（輸送事業者から把握）
- 全国貨物純流動調査
・貨物に着目（荷主から把握）



調査の活用事例

交通インフラ整備の推進

※道路、港湾等の交通インフラ整備計画等を検討するための基礎データとして使用。



環境に優しい物流の構築

※モーダルシフトの検討など、環境に優しい物流を構築するための基礎データとして使用。



物流関連施策の研究及び検討

※施設の利用状況や地域内・地域間流動量の分析など、物流関連施策の研究、検討に基礎データとして使用。

